



ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 269

2019年

7～8月号

新会長の挨拶

船津 登

4月12日の総会で我孫子野鳥を守る会の会長に就任いたしました船津登と申します。就任にあたり一言ご挨拶申し上げます。

当会は、1972年3月に設立され、今年47年目を迎えた歴史ある野鳥愛好団体です。会員は、家族会員も含め239名（2019年3月末）と多くを数えております。当会は、定例手賀沼探鳥会、遠出探鳥会などの探鳥行事、手賀沼水鳥カウント調査・ピオトープ野鳥調査及びデータベース化、環境保全活動、会報「ほーほーどり」の発行などの公報・啓蒙活動、会員の交流及び台湾・モンゴルとの国際交流などの活動を長年継続して行っております。

私は、当会に入会し、今年8年目を迎えました。入会前は、ほとんど探鳥はしていませんでしたが、探鳥会で諸先輩方から鳥の楽しみ方を学び、特に遠出探鳥会では、手賀沼周辺では見られない野鳥のスポットへ案内して頂き、美しい鳥の姿、きれいな鳴き声に出会い感激しました。また、多くの会員と交流し野鳥を愛する心を深めてまいりました。日常的には、自然豊かな手賀沼周辺で探鳥をしています。このような中で、近年、特定外来生物のナガエツルノゲイトウ、オオバナミズキンバイが水辺を広く覆っているのを見るに付け、生態系に影響をおよぼすことを懸念しています。

当会が、40周年記念として2012年3月に刊行した「手賀沼の鳥 III—食性別生息区分から見た水鳥の変遷—」は、1977年1月より月1回実施している水鳥のカウント調査及び会員から毎月寄せられる「鳥便り」を集計、解析しています。これにより、手賀沼の水鳥の変遷、手賀沼周辺の野鳥の変遷が分かり、「手賀沼の鳥—20年の観察記録—」、「手賀沼の鳥 II—30年間の変遷—」と共に当会の貴重な財産となっています。

今後とも、会の目的「自然のなかの野鳥を楽しみ、野鳥を愛するところを育てるとともに、野鳥を通じて自然保護に努め、人と鳥が共存する環境づくりを行い、あわせて会員の親睦を図る」を遂行するよう努めてまいります。また、3年後(2022年)の創立50周年を見据え、準備を進めてまいりますので、会員皆様のご協力をお願い申し上げます。

14年間と長きに亘り会長を務め、会の発展に尽力して頂いた間野前会長に、紙面を借りましてお礼を申し上げ、今後とも顧問として、木村元会長と共に会へのご支援をお願い申し上げます。

行 事 案 内

7月手賀沼探鳥会

期 日 7月14日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前8時
(サマータイムで開始が1時間早
くなりますのでご注意ください。)
案 内 上沼ヒドリ橋～第2 機場と、い
つもと逆コースで歩きます。夏真っ
盛りで鳥が少ない時期ですが、オオ
ヨシキリが大きな声で鳴き、赤い口
中を見せてくれるでしょう。オオバ
ンやカイツブリなど、可愛い水鳥の
幼鳥を探してみましよう。夏の定番
種のヨシゴイは手賀沼では少なく
なりましたが、手賀川では今年も見
られることと思います。暑さ対策も
忘れずに。
解 散 午前11時頃
担 当 桑森

7月、8月手賀沼定点カウント

期 日 7月2日(火) 雨天延期
8月6日(火) 雨天延期
集 合 我孫子市役所 午前9時
解 散 正午予定
担 当 金子雅幸、坂元貴子、船津登、桑森
亮
連絡先 桑森亮
Tel : 04-7182-3149

8月手賀沼探鳥会

期 日 8月11日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前8時
案 内 サマータイムで行われます。第2
機場駐車場のオープン時間が遅い
ため、ヒドリ橋→第2 機場→道の
駅→お立ち台 の順序で移動します。
下見の結果次第で、ヨシゴイに会い
に浅間橋へ回るかもしれません。オ
オヨシキリも鳴かなくなり、鳥も参
加者も少ない時期ですが、出会いに
期待しましょう。暑さ対策をお忘れ
なく。
解 散 午前11時頃
担 当 松田

7月、8月ビオトープ調査

期 日 7月4日(木) 雨天延期
8月1日(木) 雨天延期
集 合 手賀沼ビオトープ 午前8時30分
(7-8月は通常より1時間早くスタートし
ます)
案 内 7-8月はビオトープ、沼岸にヨシ、
ヒメガマ、クズ等の植物が繁茂し、
小鳥は見えにくくなりますが、夏鳥
のオオヨシキリの囀り、上空を飛ぶ
ツバメが見られるようになります。
また池・沼岸にコブハクチョウの親
子、田ではキジ、ハシボソガラスの
親子がみられます。昨年7月は14
種、8月は15種の野鳥を観察しま
した。アジサイ、タイサンボク、ノ
リウツギ、ムクゲ、アベリア等の木
の花が、ネジバナ、ノカンゾウ、マ
ツヨイグサ、ツユクサ等の野草の花
が咲きます。その中を蝶・トンボ等
の昆虫が見られ、蟬の声、蛙の鳴き

声が聞こえます。ビオトープ周辺の夏の雰囲気を感じながら、探鳥を試みましょう。初めてビオトープ鳥類調査に参加希望の方は下記までご連絡の上、当日は五本松公園の駐車場に8時10分までにお越しください。

解 散 午前10時30分
担 当 鈴木静治
Tel : 080-3121-4757

映 写 会 及 び 懇 親 会

本年度も下記の如く、当会恒例の映写会と懇親会を開催します。

会員より応募いただいた写真、動画、スライドショー等の素晴らしい作品の数々を皆様と一緒に楽しみ、引き続き場所を変え食事をしながら映写会の批評や探鳥会の思いつきやゲームなどで親睦を深めたいと思います。皆様奮ってご参加ください。

<映写会>

日 時 7月13日(土) 9:00~13:00

場 所 水の館3階研修室

内 容 会員の写真、動画やスライドショーなどの作品を映写して楽しめます。

(鑑賞のみの参加も大歓迎です。席の準備のため必ず事前にお申込みください。)

<懇親会>

日 時 7月13日(土) 13:30~15:30

会 費 2,100円程度

場 所 どん亭手賀沼店

我孫子市若松94-2 電話 0471-89-8671
(乾杯時にビール、ソフトドリンクの何れを希望か事前にご連絡ください)

* 乾杯時の飲み物以外は個人負担になります。

申し込み/お問合せ

申し込み締め切り 7月5日まで

申込/お問合せ先 相良直己

Tel : 04-7191-3108

E-mail : (申し込み専用アドレス)

ab-yacho-entry@abikoyacho.sakura.ne.jp

申し込み事項 ①氏名 ②映写会[参加有無、参加区分(発表者/鑑賞のみ)]
③懇親会[参加有無、乾杯時の飲み物(ビール/ソフトドリンク)]

映写会のみ、または、懇親会のみ希望の方はその旨を明記ください。

申し込み例① 手賀沼太郎 映写会(参加発表者)、懇親会(参加 ビール希望)

申し込み例② 我孫子花子 映写会のみ参加(鑑賞のみ)

申し込み例③ 我孫子次郎 懇親会のみ参加(ソフトドリンク希望)

担 当 映写会 相良直己、石渡成紀
懇親会 坂元貴子、野口紀子、
小林美智子他

三 番 瀬 探 鳥 会

期 日 9月1日(日) 雨天中止

集 合 我孫子駅改札口7:40 又は

ふなばし三番瀬海浜公園バス停9:30

交 通 我孫子駅(常磐線快速)7:52 発~
柏駅7:56 着

東武線柏駅(船橋行き)8:05 発~

東武線船橋駅8:35 着

徒歩で京成船橋駅南口前3番バス停へ

船橋海浜公園行きバス9:00 発~

終点下車9:25 着

案 内 恒例になりました千葉県野鳥の会との交流探鳥会です。

三番瀬は日本一のミヤコドリ渡来地です。秋の渡りの時期でオオソリハシギ、チュウシャクシギ、メダイチドリなど多くのシギ、チドリ類が観察できます。ミヤコドリはもちろんコアジサシ、アジサシも期待できます。

持 物 観察用具、弁当、飲み物、ぬれてもよい靴(長靴)、雨具

申 込 野口隆也まで(集合場所と携帯電話番号をお知らせ下さい)

Tel : 04-7163-7898

担 当 相良、野口(隆)

白樺峠・乗鞍探鳥会

期 日 9月20日(金)、21日(土)
集 合 我孫子駅北口ふれあい広場前
午前6時30分
案 内 当会として4年ぶりに、タカの渡りの観察地として有名な信州白樺峠と野鳥・高山植物・温泉を楽しめる乗鞍を訪れます。
標高1600mの白樺峠ではサシバ、ハチクマなどの壮大な渡りとタカ柱が見られ、180度見渡せる自然の山間の景色は最高です。標高1500mの乗鞍高原では夜は天然温泉で身体を癒し、朝は夏鳥を探鳥します。標高2700mの乗鞍畳平までバスで行き、ホシガラス、イワヒバリ、カヤクグリ、運が良ければライチョウに期待です。晴れれば乗鞍の山々の景色も堪能できます。

交 通 小型バス
定 員 20名(先着順です)
宿 舎 滝見館
長野県松本市安曇乗鞍高原温泉
Tel:0263-93-2412

費 用 24,000円程度
持 物 観察用具、雨具、防寒具、昼食、飲物
申 込 野口隆也まで(旅行傷害保険に入るため、生年月日をご連絡ください)
Tel:04-7163-7898
担 当 高波、野口(隆)

ホタルの夕べ

期 日 8月4日(日) 雨天中止
集 合 東我孫子駅前 午後7時
持 参 懐中電灯、虫除け対策
解 散 午後8時を目安
案 内 毎年恒例の当会と鳥の博物館友の会との共催による岡発戸谷津田でのホタル鑑賞会です。我孫子・柏周辺でホタルが見られる場所は限られるようですが、岡発戸・都部谷津では安定してホタルが観察できます。昨年はやや少なかったですが、毎年100頭以上は記録しています。身近にある貴重なホタルの棲息場所を訪れ、幻想的なホタルの仄かな光を楽しみ、自然環境の素晴らしさを体感してみましょ。なお、解散は東我孫子駅前となります。

申 込 不要
担 当 木村、桑森

7月役員会案内

日 時 7月14日(日) 13:00~16:00
場 所 水の館3F 研修室
議 題 ①市民のチカラまつり2019への出展
②JBF2019への出展
③会報270号掲載予定記事
④2019年度第1四半期会計報告
⑤有志探鳥会のab-yachoによる募集の運用・取り扱い
⑥報告事項
・新入会員オリエンテーションの実施結果
・映写会、懇親会の実施結果(速報)
・対外対応状況 他
⑦その他(議題のある場合は桑森までご連絡ください。)

行事報告

4月手賀沼探鳥会

日時 2019. 4. 14 9:00~12:00
曇り 微風 17℃

天気予報通り、曇天でしたが、時々陽も差す探鳥日和になりました。

“平成最後”の手賀沼探鳥会は、参加者 40 名、車 10 台という大所帯です。

ルートは、いつもの順に北千葉導水第 2 機場からで、到着し探鳥を始めると直ぐに上空をミサゴが飛翔してくれたかと思うと、葦に止まるカワセミ、羽音が聞こえるぐらい眼前を悠々と飛ぶアオサギ、鉄塔の天辺にはハヤブサなどの姿に初参加の方々からも歓声があがりました。周囲は、遅咲きの満開の桜とびっしりと咲くレンギョウの黄色が目映えました。

次いで、ヒドリ橋に向かうお目当ては、ワンドにいるはずのシマアジでしたが、2 日前の下見時に 3 羽確認し、前日の情報では 4 羽居たという姿が、今日は全く見当たりません。残念至極です。

気を取り戻してワンド内のコサギなどを目で追っていると、「コチドリ！」の声、振り向くとすでに田んぼの上空を鳴きながら飛去する後ろ姿、一瞬の出会いで少数の方しか気付かれない模様でした。

道の駅でトイレ休憩後、ハス田を急遽省略し、お立ち台に賭けて向かう。理由は、染井入落の残り少なくなったヒドリガモ、お立ち台右手の田んぼでのヒクイナ、タシギとの出会いが期待できたからです。

下見時には、独特のキョッ、キョッ・・・という抑揚のある鳴き声を聞いていたのですが、どうやらその期待に応えてくれたようで、多くの皆さんが楽しんでいました。（担当の私は、染井入落へ先行中でした）

総じて、猛禽類では、ミサゴ、ハヤブサ、オオタカ、サシバ、チョウゲンボウに恵まれましたが、渡り前のカモ達は、流石に少数になり、コガモ、ヒドリガモ、カルガモ程度で、

いよいよ寂しい沼水面でした。

加えて、畑の真ん中をゆっくりと歩くキジ、あちこちで聞こえるウグイス、ヒバリの囀りが“春到来”を物語っていました。

<認めた鳥>キジ、コブハクチョウ、ヒドリガモ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、ヒクイナ、バン、オオバン、コチドリ、タシギ、セグロカモメ、ミサゴ、オオタカ、サシバ、カワセミ、チョウゲンボウ、ハヤブサ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、ムクドリ、ツグミ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン 計 42 種

<参加者>村松寿夫、西城猛、桑森亮、嶋崎省、村瀬和則、富田道夫、富田めぐみ、斉藤恵美子、坂元貴子、坂元孝行、関口英治、新沢政之、間野吉幸、西嶋昭生、相良直己、肥後邦彦、野倉元雄、松田幸保、船津登、宮本秀樹、金子幸子、佐藤弘美、類地佑子、久松典子、石渡成紀、木村稔、高波宜子、菊池幸雄、菊池昌江、古出洋子、石井俊子、野口紀子、小林建吏朗、千葉洋、徳重玲子、鍋倉妙子、岩本二郎、相馬唐代子、常盤孝義（担当）松本勝英 計 40 名

4月手賀沼定点カウント

調査日時 2019.4.2 9:00~12:15
晴れ 北風強し 8℃~12℃

例年通り 4 月から手賀沼の水位が上げられ、干潟やコガモのお休み場の杭も水没した為カモ類は減少した。そんな沼面で増えたのはカワウだけで、猛禽類も観察できなかった。

本日のハイライトは、過去何年も見られた事が無いと思われるシマアジが 2 羽観察された事で、驚きと共に大なる喜びであった。又、ヒドリ橋近くの葦原が焼けた跡では、

タシギ、コチドリ、チュウサギなどが見られた。

調査種	上沼	下沼	合計
コブハクチョウ	7	31	38
カヨシガモ	3	0	3
ヒドリガモ	0	110	110
カルガモ	19	9	28
シマヅグ	2	0	2
コガモ	36	6	42
ホシバジロ	1	2	3
カイツブリ	6	10	16
カンムリカイツブリ	8	7	15
カワウ	89	118	207
アオサギ	9	2	11
ダイサギ	10	1	11
チュウサギ	3	0	3
コサギ	5	0	5
オオバン	28	32	60
コチドリ	1	0	1
タシギ	5	0	5
ユリカモメ	0	1	1
セグロカモメ	1	3	4
合計	233	332	565

<調査者>桑森亮、船津登、金子雅幸、坂元貴子 計4名

4月手賀沼ビオトープ調査

調査日時 2019.4.4 9:30~11:30
快晴 弱~中位の風 10-15℃

やや強い風の中、霞んだ白い富士山が見え、雲一つない快晴で鳥見には良い日でした。まだ冬鳥が残り、クイナ、ヒクイナが観察され、ハイタカ、トビの飛翔も見られた。カワウの追い込み漁、コブハクチョウとハシボソガラスの抱卵も観察出来た。田起こし後の乾田にはムクドリ、スズメのみが観察された。ビオトープの池にはオオバン、カルガモ、カワウ、コガモ、コブハクチョウが泳ぎ、池周辺の葦原ではアオジ、オオジュリンが動き、カワセミが止まる。葦原の水辺にクイナが出、ヒクイナが鳴く。葦原ではウグイスの地鳴き・囀り(谷渡り)。林ではキジが鳴き、シジュウカ

ラ、ヒヨドリが鳴く。ツグミも見られ、上空をハイタカ、トビが飛ぶ。ハシボソガラスが大木の巣で抱卵。沼岸の葦原ではオオジュリンが葦の間を動き、コブハクチョウが抱卵。その岸近くをオオバン、カルガモ、カワウの大群、コガモが泳ぎ、カイツブリが鳴く。その上をユリカモメが飛び、上空高くトビが飛ぶ。観察した野鳥 25種 197羽、他に木の花 7種、新芽 2種、実 2種、野草の花 10種、花穂・実 3種、新芽 1種、蛙 1種、蝶 3種、蠅 1種、蚊 1種、テントウムシ 1種、鯉 1種を観察しました。

<認めた鳥>キジ、コブハクチョウ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、カワウ、アオサギ、クイナ、ヒクイナ、オオバン、ユリカモメ、トビ、ハイタカ、カワセミ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、ムクドリ、ツグミ、スズメ、アオジ、オオジュリン 計 25種
<調査者>鈴木静治、船津登、間野吉幸、千葉洋、蒲田知子、相馬唐代子、坂元貴子 計 7名

5月手賀沼探鳥会

日時 2019.5.12 9:00~11:30
曇り後晴れ 東風 3m/s 17℃

定例探鳥会に代えて、「Enjoy 手賀沼！」イベントの一環としてバードウィーク手賀沼探鳥会を実施しました。毎年、我孫子市鳥の博物館と当会との共催、山階鳥類研究所の後援により実施しているもので、一般市民を対象とした探鳥会です。

少し肌寒い日で、曇り空から晴れ間がのぞき始める中、多くの一般市民の方々が訪れ、参加者数は 26 名、当会員 24 名、鳥の博物館員(ガイド) 1 名、総勢 51 名の探鳥会となりました。親水広場は工事中でしたが、水の館周辺と多目的広場は「Enjoy 手賀沼！」イベントなどで多くの家族連れで賑わっていました。

コースは、昨年同様に手賀沼遊歩道に沿って、1時間コース(1班)と2時間コース(3班)で探鳥を行いました。曇り空でやや風がありましたが、ほぼ例年並みの鳥の出具合で、

キジが姿を見せ、田んぼにはタシギを見つけ、オオヨシキリが盛んに囀っていました。水辺にはコブハクチョウ、オオバンなどが見られました。

2 コースとも当会のスタッフによるガイド、鳥の博物館岩本学芸員の説明に耳を傾けて、市民の皆さんには手賀沼周辺の環境の素晴らしさをご理解いただくとともに、望遠鏡を覗いて身近な鳥たちを知ってもらい、探鳥の楽しさを味わっていただきました。

1時間コースでは親子連れを中心に8名が参加し、認めた鳥は20種、2時間コースでは18名が参加し、認めた鳥は28種、2コース合計では番外を含め28種でした。

最後に、鳥の博物館で鳥合せと恒例の鳥ビンゴを行い、景品の写真カードをプレゼントしました。大人も子供も美しい鳥の写真選びに盛り上がっていました。

<認めた鳥>キジ、コブハクチョウ、カルガモ、コガモ、キンクロハジロ、カイツブリ、カワウ、アオサギ、クイナ、ヒクイナ、バン、オオバン、タシギ、コゲラ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、オオヨシキリ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ 計27種 番外：ドバト

<参加者>関口英治、徳重玲子、西城猛、船津登、高波宣子、嶋崎省、肥後邦彦、野口紀子、坂元貴子、鍋倉妙子、野口隆也、小林美智子、大谷光弘、相馬唐代子、小林博之、石渡成紀、松田幸保、森本宜久、間野吉幸、古出洋子、田中功、西嶋昭生、木村稔（担当）桑森亮 計24名

5月手賀沼定点カウント

調査日時 2019.5.7 9:00~12:10
曇り 17℃~19℃

日照時間が14時間近くあり、気温も20℃を超えとなれば、流石に冬鳥は例外を除いて飛び去り、沼面は静かさそのもの。

昨年に次いで下沼ではムナグロの群れが見られ、その中にキョウジヨシギも確認出来た。

調査種	上沼	下沼	合計
コブハクチョウ	13	41	54
オオヨシギ	1	0	1
カルガモ	17	8	25
コガモ	8	0	8
カイツブリ	11	9	20
カワウ	20	30	50
アオサギ	8	2	10
クイナ	12	1	13
ヒクイナ	1	1	2
コガモ	3	0	3
オオバン	4	4	8
ムナグロ	0	71	71
ヒヨドリ	1	0	1
キョウジヨシギ	0	8	8
合計	99	175	274

<調査者>桑森亮、船津登、金子雅幸、坂元貴子 計4名

5月手賀沼ビオトープ調査

調査日時 2019.5.9 9:30~11:35
曇り時々晴 やや強い風 20~22℃

曇りにもかかわらずビオトープへ行く途中、白い富士山が見える。斜面林は新緑で綺麗。

冬鳥は渡去したがそれでも17種の野鳥が観察出来ました。野の花に集まる蝶のほかにショウジョウトンボ、ツチイナゴ、カナヘビが見られた。田植えの始まった水田ではアオサギが餌探し、カルガモが泳ぐ。ハクセキレイ、ハシボソガラスが飛び、スズメの鳴き声が聞こえる。ビオトープの池の中島の葦根元でゴイサギが休み、カワセミが飛ぶ。森の草原ではキジメが見られ、ホオジロが地鳴き、シジュウカラが囀る。ヒヨドリが飛ぶ。ツバメも強風の中を飛び回る。池の葦原でヒクイナが囀る。沿岸の葦原でカイツブリが囀り、アオサギ、カルガモ、カワウ、トビが飛ぶ。観察した野鳥は17種43羽。他に木の花7種、実3種、野草の花26種、花穂・実10種、蝶5種、トンボ1種、バッタ1種、蜂2種、甲虫2種、蛙2種、爬虫類1種を観察しました。

<認めた鳥>キジ、コブハクチョウ、カルガモ、カイツブリ、カワウ、ゴイサギ(幼鳥)、アオサギ、ヒクイナ、トビ、カワセミ、ハシボソガラス、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、スズメ、ハクセキレイ、ホオジロ 計17種

<調査者>鈴木静治、船津登、間野吉幸、古出洋子、坂元貴子、相馬唐代子、小林建吏朗 計7名

葛西臨海公園探鳥会

4月20日

～初めての葛西臨海公園探鳥会～

新沢政之

4月14日定例探鳥会に初参加、その日に入会、そして翌週本探鳥会への参加でした。探鳥には興味があったのですが、知識では全くの素人、雀、カラス、燕・・・程度。定例探鳥会の雰囲気良かったのが入会の大きな理由です。当日は快晴で大変さわやかな日に加え、葛西臨海公園も初めてであり、干潟での探鳥に大きな期待感を持って現地へ向かいました。探鳥会では普段見ることができない多くの鳥をその習性など多くの説明をしてもらい充実した一日となりました。探鳥の詳細については幹事さんからの報告に譲るとし、私を感じたことを記したいと思います。

・自然の中で、野鳥を観察し、昼食を食べ、10kmあまりの散策を好天の中で過せたことは探鳥会に対しても良い印象を持つことができました。今後も継続して参加したいと強く思っています。

・会員の鳥に関する知識の豊富さには驚くことばかり。遠くの鳥を見て「・・・だ」「どうしてわかるのですか?」と聞くと「・・・だから」と明確に答えてくれます。すごい!!

・これまで何気なく見ていた鳥が、今回いろいろ教えていただいたことで親近感をもって見るようになり、より一層興味がわいてきました。会員の方たちが野鳥にはまり込むその思いの一端が少しは分かった気がします。

・現地で多くの野鳥愛好家を見かけましたが、これも驚きの一つです。またオオルリを見るために多くの人たちがカメラを構え長時間待ち続けることも、これまでは理解できなかったのですが、なんとなくわかるようになりました。

野鳥を観察しながら、会員の方たちと会話を楽しむことができました。今後少しでも早く議論の輪に入れる様、会員の皆様にはご指導の程よろしく願います。また最後になりましたがこのよう探鳥会のお世話をいただいた幹事さんに感謝いたします。

【幹事報告】

渡り途上のシギチを訪ねる春定番「葛西臨海公園探鳥会」が今年も開催され、幹事含め16名が参加した。当日は弱風、晴れ、大潮、干潮11:36と絶好の探鳥日和。昨年の41種を超える50種を観察できた。ダイシャクシギ、チュウシャクシギ等を全員が比較的近くから長時間観察できたほか、幸運な参加者はオオルリの飛翔を観察することもできた。

- ・ 9:00~10:30: 公園林間部 — 日本庭園近くでカワラヒワ、シジュウカラの囀りに迎えられてから、林を抜け渚へ。隣接する第二駐車場跡地では東京オリンピックのカヌースラローム競技会場の設営工事が急ピッチで進行中だが、週末で休工中。林を抜けた堤防から、波間に浮かぶ鮮やかな夏羽のカムリカイツブリ、水面上を飛翔するイソシギを観察。
- ・ 10:30~12:30: 西の渚と周辺水路 — 潮干狩りを楽しむ家族連れの上をスズガモの大群が飛翔、近くの水路に着水。暫くしてダイシャクシギ、ハウロクシギの姿を発見。早足で移動しながら、反った長い嘴を干潟に突き刺し採餌している。突堤先端の岩礁では10羽ほどのチュウシャクシギがしきりに嘴を上下させながら採餌。磯辺のカニを食べているのだろうか。東渚にスコープを向けると、おぼろげながらクロツラヘラサギの影。またスズガモの群れやウミアイサなどを近くからじっくり観察でき、参加者一同しばし見とれる。その後水族園前を通って鳥類園へ。干潟には、大半が夏羽の黒い頭をしたユリカモメ、そしてミヤドリとチュウシャクシギの群れ、そして

松之山探鳥会

5月26日、27日

～松之山探鳥会に参加して～

小林千恵子

5月26日～27日に1泊2日の探鳥会に参加しました。両日とも夏のように暑い日でしたが、樹々の若葉と満開のタニウツギが美しい高原の探鳥会でした。松之山へ向かうバスの中で、声のスペシャリストの鳥博の岩本さんの野鳥学習会があり、岩本さんが自身で録音した41種もの鳴き声を丁寧な解説をまじえて聞かせてくれました。学習の余韻が探鳥への期待を高めてくれたことをとても嬉しく思いました。

関越トンネルを出ると残雪の山々が見え隠れし、ヤマボウシの白い花を眺めてしばらくすると十日町市に入り探鳥が始まりました。さっそくキビタキやノジコに出会いましたがブッポウソウはすぐに飛びたってしまう見ることができませんでした。

つぎの所で電線に止まっているニュウナイスズメを見てから、移動してブッポウソウの巣のあるエリアに静かに近づくと枝に止まっているブッポウソウがいました。ドキドキしながらスコープをのぞくとオレンジの嘴・黒い頭・青緑の羽根がはっきりと見えて、スコープを何回ものぞき綺麗なブッポウソウを脳裏にしっかりと収めることができました。

翌日の早朝探鳥では民家のまばらな里山の棚田を歩き来しながら、チゴモズや鳴きながら飛び交う2羽のカッコウやアカゲラなどを見ることができました。

美人林は年間10万人が訪れるという美しいブナの林でした。キツツキの巣らしい穴を見つけてドラミングする姿を思い、池の近くでは木に止まるアカショウビンを想像しながら探鳥しました。野鳥は少なかったのですがブナのこもれびの道は心安らぐ散策でした。

津南町に近い山奥の留ダムでは、オシドリを期待して鏡のような静かな湖面をしばらく眺めていると、深山幽谷からキョロロ・キョロロとアカショウビンの声が、さらに筒をたたくような低い音のツツドリの声が聞こ

またまたダイシャクシギの姿も。

- ・ 12:30：鳥類園前の広場で昼食
- ・ 12:45～14:45：鳥類園 — ウオッチングセンター前のクイナ池で運よくクイナとヒクイナを観察したあと、下ノ池（汽水湖）から上の池（淡水湖）の順で回る。主目的のシギチはコチドリの外はほとんどいなかったが、途中の散策路で木立のなかのオオルリに遭遇。20人を超えるカメラマンに混じってうまい場所に陣取ることのできた数人の参加者だけがブルーを輝かせて飛び立つオオルリを目にすることができた。
- ・ 14:45～15:00：最後に、ウオッチングセンターの前に北帰行直前のキンクロハジロなどを観た後、鳥類園前の広場で鳥合せ、解散。10km以上歩いたが、足の疲れを忘れさせてくれる、出会いに満ちた探鳥会だった。

なお参加された岩本さんから、当日早朝探鳥会開始前に鳥類園でキビタキとセンダイムシクイを確認したとの情報があったことを参考として付記します。

<認めた鳥>オカヨシガモ、カルガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、ウミアイサ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、キジバト、カワウ、ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、クロツラヘラサギ、クイナ、ヒクイナ、バン、オオバン、コチドリ、メダイチドリ、ミヤコドリ、チュウシャクシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、イソシギ、ユリカモメ、ウミネコ、セグロカモメ、トビ、コゲラ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、ツグミ、オオルリ、シロハラ、アカハラ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、アオジ
計50種 番外：カワラバト

<参加者>関口英治、鍋倉妙子、船津登、石渡成紀、浅野利幸、嶋崎省、久松典子、相馬唐代子、桑森亮、岩本二郎、菊地幸雄、菊地昌江、野口紀子、新沢政之

(幹事) 相良直己、千葉洋 計16名

えてきました。森を見つめてじっと聞いていると、アカショウビンやツツドリは、もしかしたら私たちをそっと観察しているかもしれない…そんな思いにかられて立ち去りたい気分になりました。

松之山探鳥会は、初めてブッポウソウに出会い憧れのアカショウビンの声を聞くことができた感動的で楽しい二日間でした。

幹事の金子さん、松田さんお世話になりました。皆さまありがとうございます。

【幹事報告】

心配していたキャンセル者も無く、岩本さんの鳥声解説を聞きながら順調に目的地に向かっていった中型バスが赤城高原あたりから不調になり、予定の塩沢石打ICで降りてすぐのドライブインでエンコとなった。地元バス会社のマイクロバスに乗り換えて再出発し、90分遅れぐらいで松之山に着いた。

最初に訪れた場所で、早くもブッポウソウに会うことができた。いつものポイントでチゴモズを。前回のポイントで、夕日を浴びたブッポウソウの姿を見てから宿に入った。

前夜に到着していた救援マイクロバスで5時から早朝探鳥に出発し、チゴモズポイントと美人林をじっくり探鳥した。朝食後は大蔵寺高原に向かい、途中の留山ダムでアカショウビンの声を堪能した(姿が見られなかったのが残念)。キャンプ場周辺で探鳥後、早めの昼食をとり、昨日のブッポウソウポイント2か所を巡って帰路に着いた。目立った渋滞にも遭わず、7時前に我孫子に到着した。行程途中から窮屈なバスになってしまったのにもかかわらず、ご協力いただいたことに感謝します(記憶では、遠出探鳥会でのバス交換は3度目です)。岩本さんの鳥声解説は現地到着後すぐに役立ちました、ありがとうございました。

<認めた鳥>オシドリ、カルガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ホトトギス、ツツドリ、カッコウ、コチドリ、ハチクマ、トビ、ハイタカ、サシバ、アカショウビン、カワセミ、ブッポウソウ、コゲラ、オオアカゲラ、アカゲラ、アオゲラ、サンショウクイ、チゴモズ、モズ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、コガラ、ヤマガラ、ヒガラ、シジュウカラ、ツバメ、イワツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、ヤブサメ、エナガ、オ

オムシクイ、センダイムシクイ、メジロ、オオヨシキリ、キバシリ、ムクドリ、クロツグミ、コサメビタキ、キビタキ、オオルリ、ニュウナイスズメ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、イカル、ホオジロ、ノジコ 計56種

<参加者>小玉文夫、小玉信子、野尻清敬、野尻恭子、坂元貴子、青木典子、高波宣子、鍋倉妙子、小林千恵子、新堀正則、丸嶋紀夫、桑森亮、津村勝吉、川上貢、船津登、間野吉幸、松本勝英、嶋崎省、岩本二郎、森元宜久、小山雄司、小林建吏朗、中根忠

(幹事) 金子雅幸、松田幸保 計25名

筑波山探鳥会

4月30日

雨天のため中止になりました。

柏市民活動フェスタ実施報告

日時 5月12日(日) 10:00~16:00

場所 柏駅前歩行者天国

概要 当会の活動紹介パネルおよび手賀沼周辺で観察できる野鳥写真を展示し野鳥への関心を高めるとともに入会を勧誘した。

昨年初めて当フェスタに参加した際には、開始後2時間余りで雨のため中断となり、来場者の反応を十分に確かめられなかったが、今年は天候に恵まれ、154名の来場者があった。熱心に説明を聴いて頂けたうえに、定例探鳥会にお誘いしたところ興味を示された方も少なくなかった。

野鳥に関心をもちつつもきっかけが掴めないでいる愛鳥家も多いように見受けられたため、展示内容、ブース運営体制を検討しつつ当フェスタへの参加を継続し、柏市民へ当会活動を引き続きアピールしたい。

<協力スタッフ>

当日は以下5名の会員に協力していただきました。記して謝します。

相良直己、菊地幸雄、菊地昌江、金子雅幸、千葉史子 担当：千葉洋

2019 年度定期総会報告

日 時 4 月 14 日(日) 13:30~14:45

場 所 水の館 3 階 研修室

出席者数 35 名

- 議 案 1 号議案 2018 年度事業報告(案)
2 号議案 2018 年度決算(案)、会計監査報告
3 号議案 2019 年度事業計画(案)
4 号議案 2019 年度予算(案)
5 号議案 役員改選

議 事

開会宣言、会長挨拶、議長選出の後、第 1~4 号議案について報告・提案され、質疑応答を経て、審議の結果、全て提案通り承認・決議されました。

役員改選については、間野会長が退任し、その後任に船津副会長が選任されました。船津副会長は会長就任のため副会長退任となり、古出副会長も退任し、その後任に相良直己氏と坂元貴子氏が選任されました。また、会計監査については、六角昭男氏と類地佑子氏が再任されました。

なお、2019 年度事業計画の概要と 2018 年度決算・2019 年度予算は次の通りです。

【事業計画の概要】

1. 探鳥会の実施

- (1) 定例手賀沼探鳥会(毎月第 2 日曜日)
- (2) 遠出探鳥会(宿泊探鳥会 3 回、日帰り探鳥会 10 回程度)
- (3) 第 30 回バードウイーク手賀沼探鳥会
- (4) 市民手賀沼探鳥会(我孫子市環境レンジャーとの共催)
- (5) 手賀沼親子ふれあい探鳥会(手賀沼流域フォーラム地域企画の一環)

2. 野鳥等の調査及び保護

- (1) 手賀沼水鳥の定点カウント調査(毎月 1 回)
- (2) 手賀沼ビオトープの鳥類等調査(毎月 1 回)
- (3) データベースの整備・構築
- (4) 傷病鳥の保護等

3. 環境保全活動

- (1) 手賀沼クリーン運動に参加
- (2) 美しい手賀沼を愛する市民の連合会の

活動に参加

- (3) 岡発戸・都部谷津のホタル観察会(ホタルの夕べ)を実施

4. 広報啓発活動

- (1) 広報活動
 - ①会報の発行、配付
 - ②対外広報
- (2) 啓発活動
 - ①探鳥会の指導
 - ②対外発表等
 - ③その他の活動

5. 創立 50 年に向けて「次の一步の取組み」

- (1) 新たな観点からの探鳥会の検討、実施
- (2) 会員の勧誘・募集による新陳代謝と活性化
- (3) 各種行事への一般会員の積極的な参画による活気のある活動、事業運営
- (4) 会創立 50 周年(2023 年)を見据えた「創立 50 周年記念事業検討委員会」の設置と記念事業の検討開始
- (5) 既存活動の深化と他団体等との交流の推進
 - ①ホームページ運営の更なる改善・充実
 - ②会報の内容充実をめざした「会報改善検討委員会」による検討
 - ③野鳥サロンの随時開催
 - ④各種啓発ツールの積極的活用

6. その他

- (1) メーリングリストの運用、有効活用
- (2) 新入会員向けオリエンテーションの開催
- (3) 会員撮影の野鳥等の写真・ビデオ等の映写会の開催
- (4) 会員の親睦行事の企画、実施(懇親会、芋煮会)
- (5) 定期総会、役員会、事務局会議の定期的開催
- (6) 行政機関等の委員会等への積極的な参加

【決算と予算】

(単位：円)

項 目	2018年度 決算	2019年度 予算
収入の部		
会費	326,500	320,000
会行事収入	1,023,554	1,500,000
その他の収入	93,116	
前年度繰越金	850,824	819,921
合 計	2,293,994	2,639,921
支出の部		
野鳥の部	1,046,334	1,540,000
環境保全の部	0	2,000
啓発活動の部	247,943	320,000
庶務の部	78,414	114,000
その他の費用	1,382	150,000
別途積立金	100,000	100,000
次期繰越金	819,921	413,921
合 計	2,293,994	2,639,921

【DVD 上映会】

総会終了後、引き続き、DVD 上映会を行いました。

実施時間：15 時～16 時

参加者数：35 名

上映作品：

① ドキュメンタリー映画「或る日の干潟」(監督：下村兼史)

「100 年前にカワセミを撮った男」といわれる下村兼史の監督による短編ドキュメンタリー映画で、1940 年に制作された文部大臣賞受賞作品です。

② 南遷北返(南への旅立ちー北からの返り)

台湾金門島の野鳥の渡りを紹介したドキュメンタリーDVD です。

5 月役員会報告

日 時 5 月 12 日(日) 13:30～17:00

場 所 北近隣センター並木本館 会議室 3

出席者 23 名

議 事

1. 幹事の補充選任等

- ・船津会長が間野前会長と木村元会長を顧問に推薦し、承認されました。
- ・幹事退任者：相良直己及び坂元貴子(副会長就任)、石井俊子(辞任)、小澤淳宏(死去)以上 4 名。
- ・船津会長が新任幹事に次の 5 名を推薦し、承認されました。
新任幹事：古出洋子(副会長退任)、嶋崎省、徳重玲子、鍋倉妙子、野尻清敬

2. 2019 年度役員の仕事別分担について

事務局からの提案を検討し、一部修正し決定しました。

なお、会長・副会長・顧問を除く幹事総数及び事務局体制は次の通りです。

【幹事総数】23 名

【事務局】桑森亮(事務局長)、野口紀子、野倉元雄、関口英治、高波宣子、野尻清敬
計 5 名

3. 2019 年度下期行事計画について

事務局からの提案を検討し、次ページの通り決定しました。

<2019 年度下期行事計画>

年/月	実施日(曜日)	行 事 内 容	担 当
2019/10	1(火)	手賀沼定点カウント調査	桑森他
	3(木)	手賀沼ビオトープ調査	鈴木他
	6(日)	稲敷探鳥会	金子、松田
	13(日)	AM 手賀沼定例探鳥会、PM 事務局会議	AM 関口
2019/11	1(金)	手賀沼定点カウント調査	桑森他
	2(土)~3(日)	ジャパンバードフェスティバル	全役員
	7(木)	手賀沼ビオトープ調査	鈴木他
	10(日)	AM 手賀沼定例探鳥会、PM 役員会	AM 松本
	24(日)	芋煮会	全役員
2019/12	1(日)	統一クリーンデー、ふれあい清掃	野口(隆)他 8 名
	3(火)	手賀沼定点カウント調査	桑森他
	5(木)	手賀沼ビオトープ調査	鈴木他
	7(土)	親子ふれあい探鳥会	野倉、千葉
	8(日)	AM 手賀沼定例探鳥会、PM 事務局会議	AM 坂元、佐和橋
	15(日)	菅生沼周辺探鳥会	坂元、石渡、西城
2020/01	5(日)	江戸崎・和田岬・甘田探鳥会	松田、関口
	7(火)	手賀沼定点カウント調査	桑森他
	9(木)	手賀沼ビオトープ調査	鈴木他
	12(日)	AM 手賀沼定例探鳥会、PM 役員会	AM 桑森
	19(日)	印旛沼・別所探鳥会	鈴木、桑森、西城
	26(日)	市民手賀沼船上探鳥会	全役員
2020/02	2(日)	亀成川を愛する会探鳥指導	野口(隆)他 8 名
	4(火)	手賀沼定点カウント調査	桑森他
	6(木)	手賀沼ビオトープ調査	鈴木他
	9(日)	AM 手賀沼定例探鳥会、PM 事務局会議	AM 松田
	16(日)	行徳・江戸川探鳥会	相良、弘實
	29(土)~ 3/5(木)	台湾探鳥会 (金門島)	間野他 3 名
2020/03	8(日)	AM 手賀沼定例探鳥会、PM 役員会	AM 嶋崎
	10(火)	手賀沼定点カウント調査	桑森他
	12(木)	手賀沼ビオトープ調査	鈴木他
	14(土)	銚子・波崎カモメ探鳥会	桑森、松本

4. ほーほーどり 269 号掲載予定記事

会報 269 号の掲載記事について検討し、執筆担当等を決定しました。

5. あびこ市民のチカラまつり 2019 への参加

事務局から提案し、異議なく承認されました。

6. 親子ふれあい探鳥会の企画

間野顧問が企画内容を提案し、異議なく承認されました。

7. 報告事項

① 対外活動報告 (美手連関係、JBF2019 関係等)

② 事務局報告事項

以上

鳥 だ よ り

キンクロハジロが5月に入ってから観察されたのは、2012年以来のことでした。コガモと一緒にいることが多いシマアジが、珍しく数羽の単位で見ることが出来ました。4月になってもカシラダカ、アトリ、キビタキ、ジョウビタキなどの冬鳥もまだ居残っていました。ウソやオオルリも現れています。

ヒクイナは東北では夏鳥ですが、手賀沼では冬の季節でも出てきています。今回は多くの観察報告が集まりました。

シギ・チの渡りの季節です。ムナグロが大挙して飛来しています。クサシギもいました。コウノトリが手賀沼上空を飛び回りました

5月になり、オオヨシキリがにぎやかに囀りだし夏を感じさせます。コムクドリも現れました。チュウサギ、コチドリも多く見られます。夏鳥の鷹、ツミやサシバを観察できたという報告が多く寄せられました。

梅雨になり夏が来ます。暑さ対策を忘れずに探鳥を楽しんでください。

- | | | | |
|---|-----------|--------------------------------------|-----------|
| 3.22【浅間前】ヒバリ(1)
田の上空で囀る | 鈴木静治 | 電線に止まる | 鈴木静治 |
| 3.22【発作】ツグミ(4)
田より林に飛ぶ | 鈴木静治 | 3.28【手賀新田】モズ(1)
電線に止まる | 鈴木静治 |
| 3.22【布佐】ウグイス(2)
藪、森で囀る | 鈴木静治 | 3.28【手賀新田】バン(3)
川岸の枯れ葦中を動く | 鈴木静治 |
| 3.23【岡発戸新田】オジロイトリ(6)
葦原に飛来 | 飯泉仁・飯泉久美子 | 3.28【発作】トビ(1)
田、川の上を飛ぶ | 鈴木静治 |
| 3.23【高野山新田】クゲ(1)
葦原の中を移動 | 飯泉仁・飯泉久美子 | 3.28【布佐】ウグイス(1)
笹藪で囀る | 鈴木静治 |
| 3.23【—】コチドリ | 村井みとい | 3.28【布佐平和台】ヤマガラ(1)
庭の殻付きピーナッツを啄む | 鈴木静治 |
| 3.24【—】カシラダカ | 村井みとい | 3.29【片山（手賀の丘公園）】材木(1)
林の中でキョキョと鳴く | 船津登 |
| 3.25【布佐平和台】ヤマガラ(1)
電線に止まり囀る | 鈴木静治 | 3.30【柏】チョウゲンボウ(1)
商業施設ビルで休んでいた | 飯泉仁 |
| 3.25【第2機場】アリス(1)
葦原の木から木へ移動をする | 吉田隆行 | 3.30【戸張新田】ハヤブサ(1)
鉄塔95の天辺に | 吉田隆行 |
| 3.26【中峠】サシバ(1)
中峠で「キウイー」と尻上がりの懐かしい声と共に飛び去りました。 | 松本勝英 | 3.31【布瀬新田】ジョウビタキ(1)
林の林縁を移動 | 飯泉仁・飯泉久美子 |
| 3.27【—】コウノトリ（個体呼称）「ヤマト」 | 村井みとい | 3.31【布瀬新田】ウグイス(1)
囀り | 飯泉仁・飯泉久美子 |
| 3.28【岡発戸新田地先（手賀沼）】クゲ(1)
葦中を動く | 桑森亮 | 3.31【片山新田】材木(2)
葦原を移動 | 飯泉仁・飯泉久美子 |
| 3.28【江蔵地】ヒバリ(3)
草原の上空高く囀る | 鈴木静治 | 3.31【片山新田】クゲ(1)
葦原の中で鳴き声 | 飯泉仁・飯泉久美子 |
| 3.28【江蔵地】カシラダカ(1)
川原の葦に止まる | 鈴木静治 | 3.31【布佐平和台】ヤマガラ(2)
庭の殻付きピーナッツを啄む | 鈴木静治 |
| 3.28【手賀新田】ツグミ(1) | | 3.31【中峠】サシバ(2) | |

- カメラを向けたら一声鳴いて飛び立ち、
なんとカラスとの2対2の空中戦になりました。 松本勝英
- 3.31【中峠】シヨビ`残(1) 松本勝英
- 3.31【大井新田】コトドリ(2)
田圃を動き廻りながら採餌 吉田隆行
- 4.01【岡発戸】材カ(1)
上空を飛び大木の上部に止まる 鈴木静治
- 4.01【岡発戸】トビ(1)
上空高く滑空する 鈴木静治
- 4.01【片山(手賀の丘公園)】ホドリ(3)
池で休む 船津登
- 4.01【片山(手賀の丘公園)】ウグイス(2)
さえずる 船津登
- 4.01【片山(手賀の丘公園)】ツグミ(1)
木に止る 船津登
- 4.02【中峠】サバ(2)
中峠でほぼ連日出会えます。 松本勝英
- 4.02【中峠】アトリ
4月になったのに、アトリ、シメがまだ
居ります。梅の枝に止まったアトリは数年
振りの再会でした。 松本勝英
- 4.02【中峠】カシダカ
カシラダカもまだ居ります。 松本勝英
- 4.02【手賀沼】シマジ(2) 上沼
金子雅幸・船津登・桑森亮・坂元貴子
- 4.02【手賀沼】チュウギ(3) 上沼
金子雅幸・船津登・桑森亮・坂元貴子
- 4.02【手賀沼】コトドリ(1) 上沼
金子雅幸・船津登・桑森亮・坂元貴子
- 4.03【高野山新田】ヒクケ(2)
水辺を動く 船津登
- 4.04【北柏ナーシングセンター】イビコドリ(1)
草地から配管ダクトへ飛び移りキョロキ
ョロ 吉田隆行
- 4.04【岡発戸新田】オジユリン(6)
沼岸の葦の茎に止まる
鈴木静治・船津登・間野吉幸・蒲田知子
・千葉洋・相馬唐代子・坂元貴子
- 4.04【岡発戸新田】クケ(1)
池の縁の枯草の上を歩く、泳ぐ
鈴木静治・船津登・間野吉幸・蒲田知子
・千葉洋・相馬唐代子・坂元貴子
- 4.04【岡発戸新田】ハカ(1)
上空高く滑空
鈴木静治・船津登・間野吉幸・千葉洋
・蒲田知子・相馬唐代子・坂元貴子
- 4.04【岡発戸新田】ヒクケ(1)
葦原の中で鳴く
鈴木静治・船津登・間野吉幸・千葉洋
・蒲田知子・相馬唐代子・坂元貴子
- 4.06【手賀新田】チョウゲンボウ(1)
上空を飛ぶ 船津登
- 4.06【手賀新田(手賀沼)】ホアカ(1)
笹に止る 船津登
- 4.06【片山】材カ(1)
上空を飛ぶ 船津登
- 4.07【我孫子】フクロ(1)
早朝4時ごろに鳴き声数回 松田幸保
- 4.08【若白毛】サバ(1)
畑の上の杭に止まり餌を狙っていた
飯泉仁・飯泉久美子
- 4.08【片山(手賀の丘公園)】ヤマガラ(3)
船津登
- 4.08【片山(手賀の丘公園)】アトリ(1)
地上から飛び木に止る 船津登
- 4.09【発作】ヒバリ(1)
田の上空で轉る 鈴木静治
- 4.09【発作】モズ(1)
川岸の葦に止まる 鈴木静治
- 4.09【布瀬】ウグイス(6)
森の茂みで轉る 鈴木静治
- 4.09【布瀬】シヨビ`残(1)
森の藪で鳴く 鈴木静治
- 4.12【ヒドリ橋(湾処)】シマジ(5+)
湾処奥の枯草の上で採餌や休息
吉田隆行
- 4.13【つくしヶ丘5丁目】ツグミ(2)
地面で餌を物色 飯泉仁
- 4.13【大井新田】トビ(1)
上空を旋回 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.13【大井新田】ミコ(1)
水面の杭に飛来 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.13【布瀬】サバ(1)
電柱に飛来 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.13【戸張新田地先(手賀沼)】シマジ(4)
カヅツリノゲイの上で休む 桑森亮
- 4.13【大井新田】コガモ(18)
水面を移動 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.13【染入新田地先(手賀沼)】オジユリン(5)
葦原で採餌 桑森亮
- 4.15【北新田】クシギ(1)
排水路 佐藤さなえ・松田幸保・他10名
- 4.15【北新田】ハブサ(1)

- 飛翔 佐藤さなえ・松田幸保・他 10 名
4.15 【北新田】ヒバリ (10+)
飛翔 佐藤さなえ・松田幸保・他 10 名
4.15 【北新田】コトドリ(10)
田圃 佐藤さなえ・松田幸保・他 10 名
4.16 【片山新田(手賀沼)】ヒキケ(1)
鳴き声 船津登
4.17 【布佐平和台】チョウゲンボウ(1)
上空を滑空する 鈴木静治
4.17 【別所】ヒバリ(4)
草原上空で囀る 鈴木静治
4.18 【千間橋】チュウキギ(1)
水の入り始めた田で餌探し 鈴木静治
4.18 【千間橋】コトドリ(1)
水の入り始めた田で鳴く 鈴木静治
4.18 【布瀬】オジユリ(2)
川原の葦に止まる 鈴木静治
4.20 【中原地区】ツミ(1)
鳴き声 飯泉仁
4.21 【正蓮寺】クサギ(1)
水面で採餌 飯泉仁・飯泉久美子
4.22 【片山 (手賀の丘公園)】オオカ(1)
林の中を飛ぶ 船津登
4.22 【片山 (手賀の丘公園)】ヤマガラ(5)
船津登
4.22 【片山 (手賀の丘公園)】ウグイス(2)
さえずる 船津登
4.22 【片山 (手賀の丘公園)】キツバタ(2)
木に止る・さえずる 船津登
4.22 【片山新田(手賀沼)】オオカ(2)
葦に止る 船津登
4.23 【第2 機場】コムドリ(5)
葦原の丸刃柳の木に止まり採餌・羽繕い 吉田隆行
4.24 【布瀬】サバ(1)
鳴きながら移動 飯泉仁
4.24 【片山】ムゲロ(175)
水田で座り込み休んでいた 飯泉仁
4.24 【布佐平和台】フクロ(1)
深夜約 6 回鳴く 鈴木静治
4.26 【白連寺調整池】クサギ(2)
採餌 吉田隆行
4.27 【布佐】ウグイス(1)
森の茂みで囀る 鈴木静治
4.27 【北柏ふるさと公園】オオシキリ (複数)
北柏ふるさと公園の中州の葦原で。初認 千葉洋
4.28 【発作】ウ(1)
林の茂みで鳴く 鈴木静治
4.28 【中原地区】ツミ(1)
鳴きながら飛来 飯泉仁
4.28 【片山】サバ(1)
道路脇の電柱に飛来 飯泉仁・飯泉久美子
4.28 【発作】ヒバリ(2)
上空高くで囀る 鈴木静治
4.28 【発作】モズ(4)
葦、電線に止まる 鈴木静治
4.28 【布佐平和台】オオカ(1)
テニスコート上空でハボウガラスにモビングされる 鈴木静治
4.28 【布瀬】トビ(1)
田の上を飛ぶ 鈴木静治
4.29 【片山】オオカ(1)
樹の上で囀る 桑森亮
4.29 【岡登戸新田】ムゲロ(51)
田んぼで採餌 桑森亮
4.29 【北新田】ツグミ(3)
田んぼの畔に 桑森亮
4.29 【千間橋】チュウキギ(3)
田植のトラクターについて餌探し 鈴木静治
4.29 【布佐】センダイムシクイ(1)
森の高木で囀る 鈴木静治
4.29 【布佐】キツバタ(1)
森の高木で囀る 鈴木静治
4.29 【片山 (手賀の丘公園)】ヤマガラ(2)
船津登
4.29 【染井入新田 (手賀沼辺)】オオシキリ
手賀沼のお立ち台付近で 坂元貴子
5.03 【片山】ムゲロ(109)
田んぼで採餌 飯泉仁・飯泉久美子
5.04 【つくし野 4 丁目】コトドリ(2)
廃業した住宅公園跡の広い更地の上空を 2 羽で。この場所で繁殖してくれるか？ 田中功
要注視。
5.05 【つくしヶ丘 5 丁目】ツミ(1)
鳴き声 飯泉仁
5.05 【発作】ヒキケ(1)
キョッキョッと葦原中で鳴く 鈴木静治
5.05 【布佐】ツグミ(1)
電線に止まる 鈴木静治
5.06 【水道橋】チョウゲンボウ(1)
カラスに追われる 桑森亮
5.06 【片山 (手賀の丘公園)】ヤマガラ(4)
船津登

- 5.06【片山（手賀の丘公園）】ウグイス(2)
さえずる 船津登
- 5.06【片山新田】ムナゲロ（約100）
水田で採食・畦で休む 船津登
- 5.06【大津川沿い】アマキ(1)
代掻きのトラクター前で採餌 吉田隆行
- 5.07【下沼田】ヒバリ(3)
上空高くで囀る 鈴木静治
- 5.07【下沼田】オヨシキリ（約10）
小川岸の葦原で鳴く 鈴木静治
- 5.07【手賀沼辺】ムナゲロ(71) 下沼
金子雅幸・船津登・桑森亮・坂元貴子
- 5.07【手賀沼辺】コトドリ(1) 上沼
金子雅幸・船津登・桑森亮・坂元貴子
- 5.07【手賀沼辺】オヨシキリ
水鳥以外の観察種 金子雅幸
- 5.09【相島】チュウキ(1)
水田で餌探し 鈴木静治
- 5.09【布佐】キバ(1)
森より囀りが聞こえる 鈴木静治
- 5.09【戸張新田】オオカ(1)
4羽のカラスにモビングされていた
吉田隆行
- 5.09【岡発戸新田】トビ(1)
上空を滑空する
鈴木静治・船津登・間野吉幸・古出洋子
・坂元貴子・相馬唐代子・小林建吏朗
- 5.09【岡発戸新田】ヒキ(1)
池の葦原中で囀る
鈴木静治・船津登・間野吉幸・古出洋子
・坂元貴子・相馬唐代子・小林建吏朗
- 5.10【布佐平和台】フクロ(1)
夜中鳴き声が聞こえる 鈴木静治
- 5.10【片山】サバ(1)
木に止る 船津登
- 5.11【つくしヶ丘5丁目】ツミ(1)
雌が巣のなかに入る 飯泉仁
- 5.11【発作】オヨシキリ(3)
鳴き声 飯泉仁・飯泉久美子
- 5.11【布瀬】ウグイス(1)
囀り 飯泉仁・飯泉久美子
- 5.11【片山新田】モズ(3)
水田脇の草原から若鳥が出現
飯泉仁・飯泉久美子
- 5.11【下沼田】ムナゲロ(1)
田の畦で休む 鈴木静治
- 5.11【古戸】ヒバリ（約10）
堤防上、空を飛びながら囀る 鈴木静治
- 5.11【浅間前】ムナゲロ(41)
田植え前の田を動く 鈴木静治
- 5.11【中峠】オヨシキリ（約30）
葦原の中、葦の茎に止まり囀る 鈴木静治
- 5.11【中峠】ノスリ(1)
葦原上を低空で飛び、看板上に止まる
鈴木静治
- 5.11【布佐】キバ(1)
森でツユケに似た声で囀る 鈴木静治
- 5.12【つくしヶ丘5丁目】ツミ(1)
鳴き声 飯泉仁
- 5.12【千間橋】チュウキ(1)
水田で餌探し 鈴木静治
- 5.12【発作】ヒキ(1)
葦原で鳴く 鈴木静治
- 5.12【布瀬】センダイムシ(1)
森の茂みで囀る 鈴木静治
- 5.13【手賀新田】ムナゲロ(1)
水田の畦で休む 船津登
- 5.13【片山（手賀の丘公園）】ヤマカ(1)
船津登
- 5.15【正蓮寺】コトドリ(1)
鳴き声 飯泉仁・飯泉久美子
- 5.15【正蓮寺】クサビ(1)
湿地で餌を物色 飯泉仁・飯泉久美子
- 5.15【手沼遊歩道】キンクロハジメ(1)
水面を泳ぎ、時々水浴び 浅井久
- 5.15【柏】チョウゲンボウ(2)
営巣中の施設に飛来 飯泉仁
- 5.15【北新田】チュウキ(2)
水田 佐藤さなえ・松田幸保・他10名
- 5.15【北新田】ウグイス
草叢で囀る
佐藤さなえ・松田幸保・他10名
- 5.15【北新田】オヨシキリ（5+）
葦原 佐藤さなえ・松田幸保・他10名
- 5.15【北新田】ツグミ(1) 水田畦道
佐藤さなえ・松田幸保・他12名
- 5.18【つくしヶ丘5丁目】ツミ(1)
雌が巣の中で抱卵中 飯泉仁
- 5.18【片山新田】オヨシキリ(1)
葦原で鳴いていた 飯泉仁・飯泉久美子
- 5.18【片山新田】ミサコ(1)
飛翔し移動 飯泉仁・飯泉久美子
- 5.20【戸張新田】コトドリ(6)
雛2羽畑で動き回る 桑森亮・船津他

■今回寄せられた鳥の全種名■

アオサギ、アオジ、アカハラ、アトリ、アマサギ、アリスイ、イソヒヨドリ、イワツバメ、ウグイス、ウソ、エナガ、オオジュリン、オオタカ、オオバン、オオヨシキリ、オオルリ、オカヨシガモ、オシドリ、オナガ、カイツブリ、カケス、カシラダカ、カルガモ、カワウ、カワセミ、カワラヒワ、カンムリカイツブリ、キアシシギ、キジ、キジバト、キビタキ、キョウジョシギ、キンクロハジロ、クイナ、クサシギ、ゴイサギ、コウノトリ、コガモ、コゲラ、コサギ、コチドリ、コブハクチョウ、コムクドリ、サシバ、シジュウカラ、シマアジ、シメ、ジョウビタキ、シロハラ、スズメ、セグロカモメ、セグロセキレイ、セッカ、センダイムシクイ、ダイサギ、タシギ、タヒバリ、チュウサギ、チュウシャクシギ、チョウゲンボウ、ツグミ、ツバメ、ツミ、トビ、ノスリ、ハイタカ、ハクセキレイ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ハヤブサ、バン、ヒクイナ、ヒドリガモ、ヒバリ、ヒヨドリ、ビンズイ、フクロウ、ホオアカ、ホオジロ、ホシハジロ、ミサゴ、ムクドリ、ムナグロ、メジロ、モズ、ヤマガラ、ユリカモメ、ルリビタキ 計 88 種
 <番外種>カワラバト、コジュケイ

■今回の投稿者の総投稿件数■

吉田隆行	22
金子雅幸	9
金子雅幸・船津登・桑森亮・坂元貴子	52
桑森亮	26
桑森亮・船津他	1
佐藤さなえ・松田幸保、他 10 名	30
佐藤さなえ・松田幸保、他 12 名	30
坂元貴子	1
小山雄司	2
小林美智子	1
松田幸保	2
松本勝英	12
千葉洋	1
船津登	146
村井みとい	6
田中功	1
浅井久	1
畠中暁美	1
飯泉仁	311
飯泉仁・飯泉久美子	226
鈴木静治	295
鈴木静治・船津登・間野吉幸・蒲田知子 ・千葉洋・相馬唐代子・坂元貴子	25
鈴木静治・船津登・間野吉幸・古出洋子 ・坂元貴子・相馬唐代子・小林建吏朗	17
総計	1,218

(弘實和昭)

【会員だより】(ab-yacho より)

【白髪頭のスズメ】

2019.03.04 新堀正則

鎌ヶ谷の新堀です。

近所で鳥見してたら白髪頭のスズメを見つけましたので紹介いたします。

もちろん本当に白髪ではないのでしょうか、部分的なアルビノでしょうか？

私は初めて見ました。

【ツバメが戻っていました、他】

2019.03.22 平岡考

3/20 の朝に我孫子駅前の居酒屋「晴れるや」の 2 階の窓（壁から引っ込んだようになっています）にツバメが戻っていました。

それから、これは先月報告しなければなりませんでした。2/13 に山階鳥研のガラス窓にハイタカの美しい成鳥雄が衝突しました。駆け付けたところ、ガラス窓の下で、仰向けにひっくり返って落ちていて、保護飼育になれた所員に預けたところ翌週の前

半まで生きていて多少は餌も食べたようですが、結局は落鳥してしまいました

【中峠にサシバ飛来しました】

2019.03.26 松本勝英

中峠に今年もサシバが飛来してくれました。

今夕、4時少し前、「キウィー」と尻上がりの懐かしい声と共に定位置の杉の枯れ木がカラスに先着されていたので隣の樹梢から様子を窺っていました。

周辺の林から、なんとカケスが飛去したタイミングに同じ方向へ飛び去りました。

相方はまだ到着していません。

カケスというサプライズ付きのサシバとの再会でした。

【中峠のサシバ、続編】

2019.03.27 松本勝英

昨日、ご報告した「中峠のサシバ」ですが今日の昼前、2羽で鳴きながら頭上を通過し林を超えて飛去しました。その直前、田んぼ沿いの電柱から1羽が飛んだ方向での遭遇でした。

ペアかは未確認ですが、今年も楽しみな初夏を迎えそうです。

【ニシオジロビタキ】

2019.04.05 新堀正則

本日、日比谷公園でニシオジロビタキに会ってきました。

信じられないくらい人を恐れないのでじっとしていると1mくらいまで寄ってきます。

(この公園の特徴なのか、シロハラも手が届く距離にいました)

めったに出会えない鳥ですので、まだ見たことのない方はぜひお出かけください。

とっつてもかわいくて悶絶しそうでした。(個人の感想です笑)

【中峠のサシバ、続々編】

2019.04.06 松本勝英

中峠のサシバ、昼前、第3の個体が出現しました。

昨年も、初認から数日のうちに「3羽飛翔」がありましたが、正に、日数こそ10日違いますが同じパターンに遭遇しました。

昨年の子どものなのか、全く違う通りすがりの渡り途中の個体なのかは分かりませんが、間もなく1羽を杉の梢に残し、2羽は林の上空を飛去。

出会いの箇所もどうやら落ちてきてきましたし営巣場所の目星は付いた様子で、ペア争いなどのトラブルに発展しないか心配半分です。

帰路、自宅近くになって、まだ冬羽のシメが一瞬の“締め”をしてくれました。

【ツミの巣作り】

2019.04.14 新堀正則

某霊園で今年もツミが巣作りに着手しています。メスも確認しています。

これから、温かく見守って行きたいです。

【2019年のオオバン調査結果】

2019.04.17 小田谷嘉弥

本日のオオバン調査に参加された皆様、お疲れ様でした。天候に恵まれて、無事に調査を行うことができ良かったです。学芸スタッフの間で地図の記録を見比べて、重複がないか確認した結果の個体数をお知らせします。

上沼北岸：オオバン 22羽 (4つがい)

上沼南岸：オオバン 33羽 (0つがい)

下沼北岸：オオバン 26羽 (1つがい)

下沼南岸：オオバン 67羽 (9つがい)

合計：オオバン 148羽 (14つがい)

各地点の個体数、合計個体数ともに多めとなり、合計個体数は最近では2007年の180羽に次ぐ数となりました。一方で推定つがい数は昨年とあまり変化がない14つがいに留まりました。沼の中の分布は例年と同じ傾向で下沼南岸が最も多い結果でしたが、ここ数年低迷していた（昨年は2羽）上沼北岸も22羽と盛り返していたのは良いニュースといえそうです。今後もカウント調査を継続し、モニタリングデータを蓄積していきたいと考えております。

【シメの群れ】

2019.05.04 平岡考

4/30、近くの緑地を回ってみました。渡りの夏鳥に出会えないかなと期待したのですが、残念ながら夏鳥には出会えず、代わりにということではないでしょうが、どの緑地にもシメの小群がいて、ごぞんじの、ピチッというきつい声と、スイという尻下がりの声を盛んに出していました。この冬は1月頃でもシメが複数いたりしましたが、やはりこの時期にあちこちにそれなりの数があるというのは、北上する群れが通過しているのではないかと思います。

会からのお知らせ

< 映写会発表作品募集 >

行事予定欄で募集中の映写会への発表作品の締め切りが迫っております。
応募要項などの詳細は、6/6付けの相良さんからの配信メールをご覧ください。

< 新入会員紹介 >

富田めぐみ、道夫（市川市在住）

大谷光弘（我孫子市在住）

ほーほーどり No. 269 (2019年7~8月号)

発行 2019年7月1日

発行人 船津登

編集人 青木典子、古出洋子、千葉洋、鍋倉妙子、野口紀子、松本勝英、宮下三禮

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台 2-15-17 桑森亮 Tel : 04 - 7182 - 3149

URL <http://abikoyacho.org/>

郵便振替 00140-2-647587 我孫子野鳥を守る会

会費 年会費 2,000円（大学生・高校生 1,000円、中学生以下 500円、家族会員 無料）